

7. 中堅中小企業の生産性を高め伝統産業の価値を発信する

() 内は前年度当初予算

(1) 本県が誇る地場産業の振興と伝統産業の未来への継承

3,709 万円 (3,760 万円)

海外見本市等への出展やブランディングなどに積極的に取り組む地場産業事業者や、伝統工芸品産業の設備投資、販売促進に対して支援するほか、伝統技法の継承に向けた製造過程などのアーカイブ化を実施。

(2) AI・ロボット技術等の活用による生産性向上の加速化支援

1 億 3,783 万円 (新規)

生産性の維持・向上を図るため、作業工程の省力化・省人化が可能なAI等の先端技術を活用した製造現場における生産管理や製品検査などの自動化技術を開発するほか、先端技術を活用した省力化技術などを実証する企業を支援。

(3) 中小企業のイノベーション創出支援

1 億 3,180 万円 (1 億 3,024 万円)

中小企業の価値向上とイノベーション創出のため、試験研究機関の伴走支援のもと、大学等の技術シーズや企業の開放特許等を活用した技術革新の取組みを支援するほか、生産性向上や循環経済対応につながる研究開発を推進。

(4) 多様なニーズに対応した人材育成の促進

6,560 万円 (8,186 万円)

デジタル人材の創出に向け、県内企業の就業者や就職予定の大学生に対して研修等を実施するほか、企業ニーズに応じたリスクリングを支援するため、リスクリングに役立つ研修や、職業訓練、相談窓口、助成制度などの情報発信やセミナー等を開催。

(5) 「稼ぐ力」の強化に取り組む小規模事業者への支援

5 億円 (3 億円)

原材料価格やエネルギーコストの高騰、人手不足等により、厳しい経営環境に直面する小規模事業者に対し、売上増加に繋がる事業拡大や業態転換等に要する経費を支援。特に、マイクロワークなど新たな働く環境づくりに取り組む事業者を重点的に支援。

○今後検討を進める施策

- 伝統産業が発展してきた背景や歴史、職人の技術などを物語として伝えることで、地域の子どもたちの理解の促進を図る。伝統産業の魅力を発見・発信するため、特に外国人や若者の視点を活用し新機軸の打ち出しに繋げる。
- ソーシャルメディアやウェブサイトを活用して、伝統産業の製品のみならず、材料の選定、製造プロセスなど広く情報を発信する。動画や画像を通じて、伝統産業の魅力を視覚的に伝える仕組みを構築する。
- 伝統産業を歴史遺産や観光資源と連動させることで、その価値を拡大しファン作りを行う。工房見学や体験ワークショップの継続開催を促進する。
- 伝統産業の技術やデザインを現代のライフスタイルに合わせてアレンジする。